

別紙 2

(4) 移植先

表-1、表-2及び表-3の結果及びハビタットマップを踏まえ、大浦湾側のJ、P、K地区の小型サンゴ類約38,760群体の具体の移植先として、同様のサンゴ種が生息し、サンゴ群生の種別生息状況、群体数及び生息環境(地形、水深、生息基盤、水質、波当たり、流れの状況、食害生物、付着藻類、移植可能スペースの有無)が類似している図-8記載の「中干瀬のS1」の場所に移植する計画。

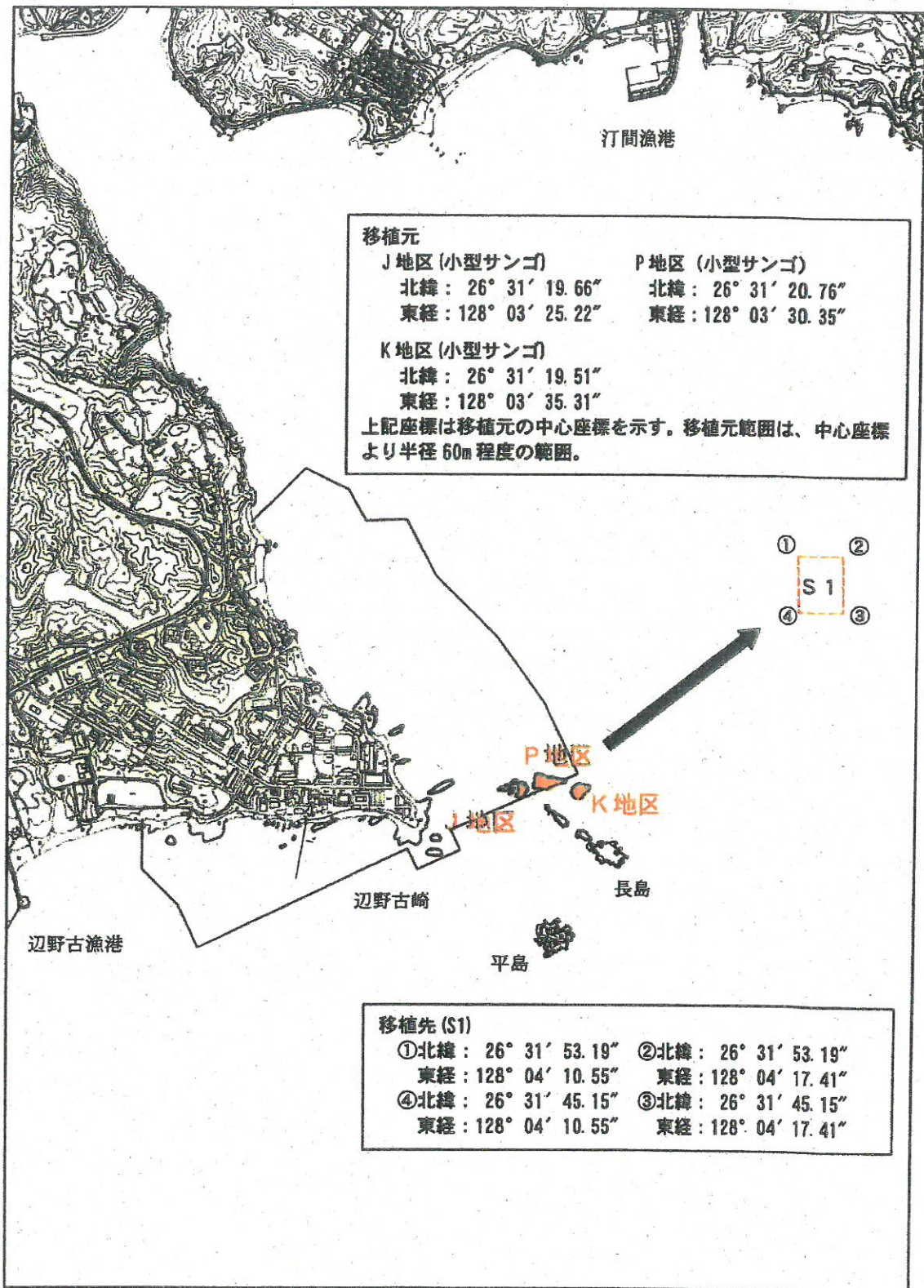


図-8 移植元及び移植先

別紙 3

(4) 移植先

表-1の結果及びハビタットマップを踏まえ、大浦湾側のI地区の小型サンゴ類約830群体の具体の移植先として、同様のサンゴ種が生息し、サンゴ群生の種別生息状況、群体数及び生息環境(地形、水深、生息基盤、水質、波当たり、流れの状況、食害生物、付着藻類、移植可能スペースの有無)が類似している図-8記載の「辺野古崎前面海域のS5」の場所に移植する計画。

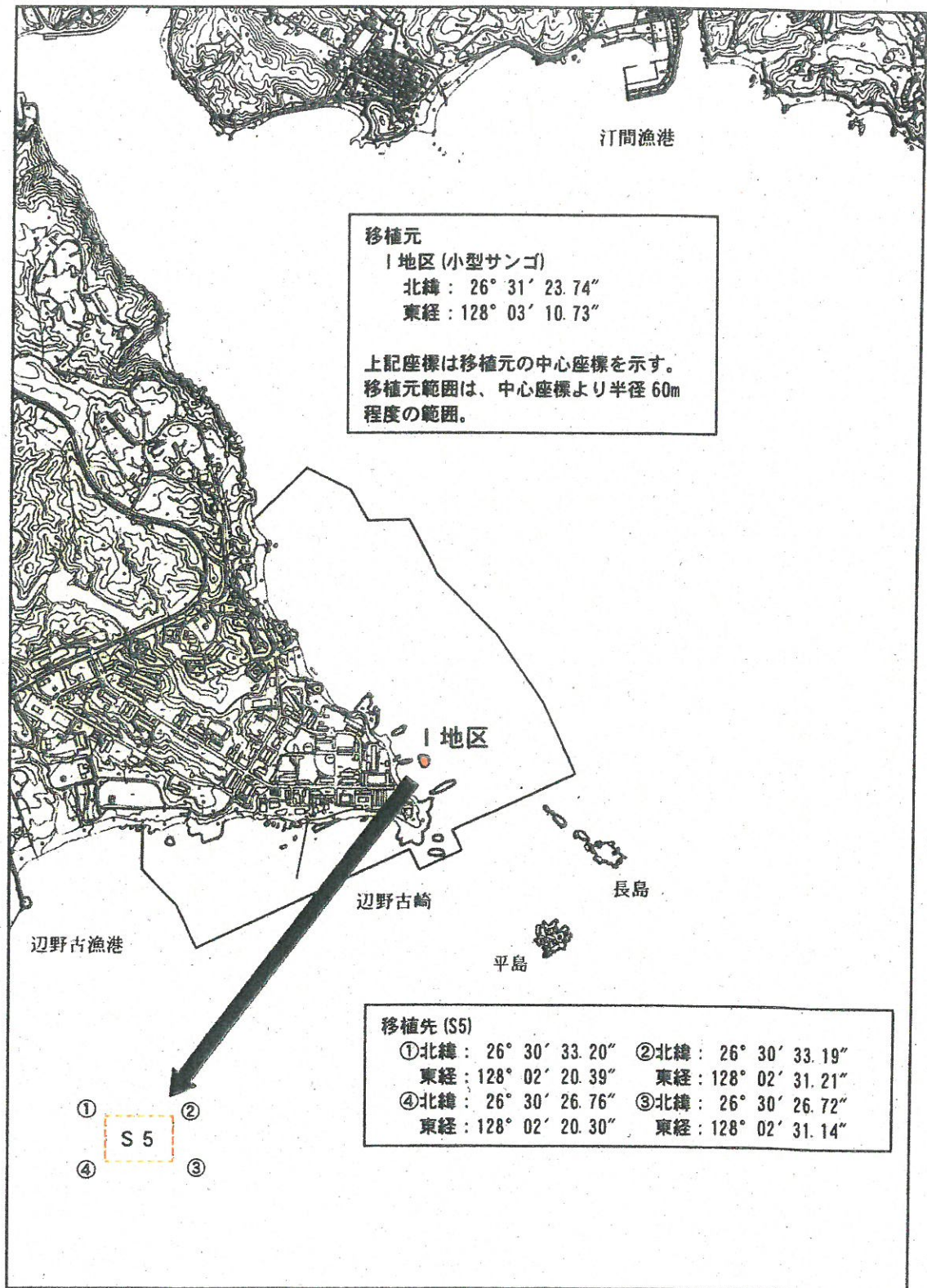


図-8 移植元及び移植先

資料3 K8・N2護岸、JPKI各地区の小型サンゴ類分布域、地盤改良区域の位置関係

この図は、現在の埋立承認に係る工事計画に基づく護岸等の配置に、JPKI各地区の小型サンゴ類の分布域及び地盤改良を要する区域（SCP、PD、SD各工法の範囲）を重ね合わせて表示したものです。

